



熊本市では市立学校等の施設照明のLED化を進めています。

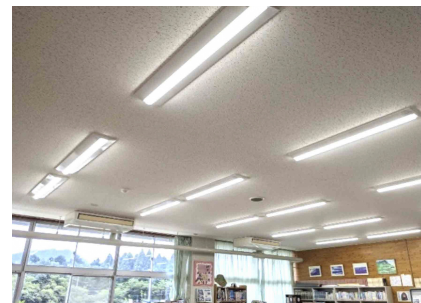
熊本市では、市有施設の省エネルギー化や水銀フリー社会の実現を目的に、これまで施設で使用してきた蛍光灯や水銀灯などの照明のLED化を進めています。

この事業は令和2年度から進めており、現時点で市立の小中学校や高校、幼稚園など142施設におけるLED化がほぼ終了しました。学校からは「より明るくなった!」との喜びの声が届いており、この事業を通じて子どもたちに省エネの大

切さを伝えていきたいと考えています。今後は学校の体育館や校庭の照明のほか、消防施設16施設の照明のLED化を進め、来年3月までに終了する予定です。

照明のLED化は照明分の電力使用量において約6割の省エネにつながり、温室効果ガス削減だけでなく、電力料金の削減にも大きく寄与します。

本市では今後も引き続きその他の市有施設のLED化を進めていく予定です。



蛍光灯照明からLED化された学校教室

こんなにCO₂削減が見込めるんだ!



熊本市イメージキャラクター「ひごまる」

今回のLED化事業での熊本市の温室効果ガス削減見込み

市立学校(142施設)・消防施設(16施設)の年間削減量

約3,100t -CO₂

うち市立学校の校舎分の年間削減量

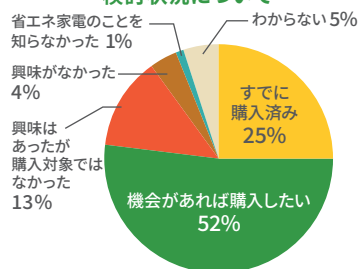
約2,300t -CO₂

熊本市地球温暖化防止活動推進センターより

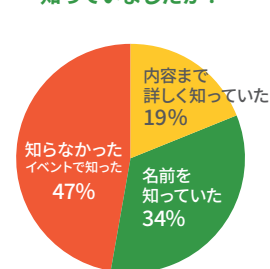
あなたはどう? 省エネ家電についてのアンケート調査を実施しました

6月と7月に2回(月1回)、200名を対象に省エネ家電についてのアンケート調査を実施しました。これまでの省エネ家電購入について調べた結果、すでに購入済みが25%、機会があれば購入したいが52%、興味はあったが購入対象ではなかったが13%、興味はなかったが4%、知らなかったが1%、わからないが5%となりました。

これまでの省エネ家電購入の検討状況について



統一省エネラベルについて知っていましたか?



また、統一省エネラベルについて調査結果は、詳しく知っていたが19%、名前は知っていたが34%、知らなかったが47%となりました。

統一省エネラベル 多段階評価の例(照明)



★数表示	多段階評価点	製品のエネルギー消費効率
★★★★★	5.0以上	148.5lm/W以上
★★★★☆	4.5~4.9	132.0lm/W以上~148.5lm/W未満
★★★☆☆	4.0~4.4	116.0lm/W以上~132.0lm/W未満
★★☆☆☆	3.5~3.9	100.0lm/W以上~116.0lm/W未満
★☆☆☆☆	3.0~3.4	83.0lm/W以上~100.0lm/W未満
★★☆☆☆	2.5~2.9	66.5lm/W以上~83.0lm/W未満
★☆☆☆☆	2.0~2.4	50.0lm/W以上~66.5lm/W未満
★★☆☆☆	1.5~1.9	47.0lm/W以上~50.0lm/W未満
★☆☆☆☆	1.0~1.4	47.0lm/W未満

製品のエネルギー消費効率:50lm/Wを基準とし、基準時の評価点を2.0(表示:★★)とする

家電を買い替える場合は、統一省エネラベルの星の数が多い省エネ家電をお勧めします。

Report 熊本市地球温暖化防止活動推進員より たみの楽園の森づくり活動で地球温暖化防止の推進を

私は、環境整備活動を通して、自然環境から生み出される資源を再活用、有効活用することにより地域の活性化に寄与することを目的とした「NPO法人 たみの楽園」で熊本市やその近郊で活動しています。特に竹林から生み出される竹資源を竹粉にして生ごみのコンポスト化を全世帯に実現したいと考えています。

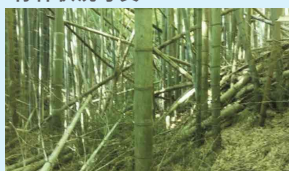
5年前(2016年11月)より熊本市東部の小江山緑地公園の4.5haの荒廃した竹林の整備を実施しました。

竹の炭素吸収率は、短期間であれば早生木の炭素吸収率と同等かそれを上回ることができますが、竹が積極的に管理されている場合にのみ可能であることが前提と言われています。

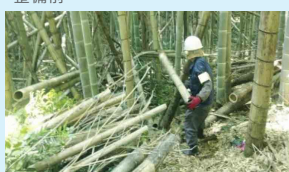
竹は、昔から人々の暮らしの営みのなかで使われてきた素材です。放置竹林を減らし、適切に竹林を管理していくことは、担い手の課題も大きくあるものの、気候変動の緩和だけでなく、地域活性のためのひとつの手段になりうるのではないのでしょうか。

※コンポスト化とは、有機物(動植物を構成している物質)を、微生物により発酵させ堆肥化し、肥料や土壌改良材として農業用に再生利用することをいいます

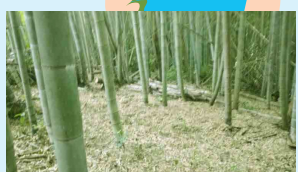
竹林状況写真



整備前



整備中



整備後